

照明不要時の対策  
をしていますか？

屋外設置の自動販売機の場合、タイマーにより、照明を昼間に自動的に消灯することができます。また、屋内設置の従業員用などの自動販売機の場合、蛍光灯を外す（消灯）ことで省エネを図ることができます。

対策例

設置箇所や時間に関係なく照亮点灯



昼間照明を消灯したり設置箇所の状況によりランプを取り外して省エネ



効果例

	自動販売機 台数
	6台
削減電力量	6.0MWh/年
原油換算削減量	1.5kL/年
CO <sub>2</sub> 排出削減量	3.2t-CO <sub>2</sub> /年
削減金額	約90千円/年

[試算条件]

- ・自動販売機 6台（3本 / 1台）の蛍光灯を取り外した場合
- ・建物種別：店舗
- ・蛍光灯仕様：FL32W、消費電力：38W / 本
- ・点灯期間及び時間：4月～3月（365日）、0時～24時
- ・電力契約種別：業務用電力A（6kV）
- ・原油換算係数：0.257kL/MWh（昼間）、0.239kL/MWh（夜間）
- ・CO<sub>2</sub>排出原単位：0.528t-CO<sub>2</sub>/MWh（H27年度実績値（調整後排出係数））
- ・削減金額は消費税含む。

システム導入のポイント

屋内設置の自動販売機については、設置場所の照度や利用者のサービスを考慮することが大切です。

参考資料

缶自動販売機における消費電力構成比

